

# 物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

## 事例番号 174

発生場所	病室	精神・意識障害の有無	リスク
発生場所 (その他)			
関連したもの	その他	発生内容の分類	
		医療機器等	

### 発生内容

酸素の無投与

### 概要

酸素カニューレで投与中、ストレッチャで検査に行き、帰室した。  
複数の看護師でベットに移動し、酸素ポンベから中央配管へつなぎかえた。  
他の人が流量を設定してくれたと思い、延長チューブにカニューレを接続した。  
次の勤務者が酸素の流量を確認すると、0となっていて無投与となっていた。

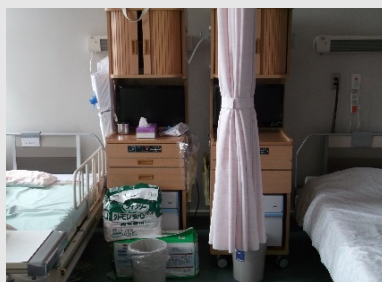
### 要因

1・2号館では、2人部屋では中央配管は1つ、5、6人の大部屋は2～3コと1ベットに1つの配管がない。  
そのため、Y字管を使い、延長チューブを用いて酸素投与している。  
3号館の4人部屋では、1ベットに1つの中央配管だが、床頭台でかくれてしまう。  
そのため、流量の確認やつなぎかえがしにくい。  
患者サービスの向上のため、冷蔵庫付の床頭台に変更した。

### 対策

スタンド式配管を購入した4部署  
ベットから中央配管の位置が遠く、確認しにくい場合はスタンド式を活用する。

### 参照



病室大部屋の中央配管ですが、1ベット1配管の配置はない、またベットの場所によって延長チューブを用いて酸素を投与している。  
さらに床頭台が169.5cmと高く、中央配管の設置は140cmなので隠れてしまうなどの問題があります。